

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第3743890号  
(P3743890)

(45) 発行日 平成18年2月8日(2006.2.8)

(24) 登録日 平成17年12月2日(2005.12.2)

(51) Int. Cl. F I  
**B 6 5 D 30/10 (2006.01)** B 6 5 D 30/10 L  
**B 6 5 D 33/00 (2006.01)** B 6 5 D 33/00 C

請求項の数 1 (全 5 頁)

<p>(21) 出願番号 特願2004-127337 (P2004-127337)</p> <p>(22) 出願日 平成16年3月27日(2004.3.27)</p> <p>(65) 公開番号 特開2005-280832 (P2005-280832A)</p> <p>(43) 公開日 平成17年10月13日(2005.10.13)</p> <p>審査請求日 平成16年3月27日(2004.3.27)</p> <p>早期審査対象出願</p>	<p>(73) 特許権者 504161102 伊藤 通朗 大阪府吹田市南正雀2丁目8番4号</p> <p>(73) 特許権者 504161113 池田 高男 兵庫県西宮市樋之池町10番30号ライオンズマンション夙川102</p> <p>(72) 発明者 伊藤 通朗 大阪府吹田市南正雀2丁目8番4号</p> <p>(72) 発明者 池田 高男 兵庫県西宮市樋之池町10番30号ライオンズマンション夙川102</p> <p>審査官 渡邊 真</p>
---	---

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 収容袋巻装体

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

一の収容袋の開口部と他の収容袋の底部とがミシン目で切り離し可能に連結されて、複数の収容袋が連なって帯状に形成され、それがロール状に巻かれた収容袋巻装体であって、上記ミシン目が、隣接する収容袋の底部側に突出するように形成されているとともに、そのミシン目の突出部分の形状が、頂部が尖った山形に形成され、収容袋の開口部形状と底部形状とが異なっていることを特徴とする収容袋巻装体。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、樹脂フィルム等からなる収容袋が複数、帯状に連結され、それがロール状に巻装された収容袋巻装体に関するものである。

【背景技術】

【0002】

スーパーマーケット等には、生鮮食品売り場やレジ通過後の台に、食品等を収容するための樹脂フィルム製収容袋の巻装体が設置されている。このものは、図6に示すように、複数の収容袋11が帯状に連結されたものがロール状に巻装されたものであり、上記連結部分は、ミシン目12により切り離しが容易となっている。各収容袋11は、上記巻装体から帯状に繰り出した後、ミシン目12で切り離すことにより得られる。そして、その一端側が開口部11aとなり、多端側が底部11bとなっている。この底部11bは、底端

から少し距離をおいて、ヒートシールS等により、収容袋11の向かい合う樹脂フィルム同士が接着されている。なお、図6において、Aは、円筒状の芯材である。

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

しかしながら、上記ミシン目12は、一直線であるため、ミシン目12で切り離すと、各収容袋11は、四角形のシート状となり、その四角形のどの辺が開口部11aとなっているのが、わかりにくい。

【0004】

しかも、上記収容袋11の開口部11aは、通常、向かい合う樹脂フィルム同士が密着しており、開口し難くなっている。また、上記収容袋11の開口部11aを縛った状態では、収容袋11に引き裂くきっかけとなる部分がなく、収容袋11は、引き裂かれ難くなっている。

10

【0005】

本発明は、このような事情に鑑みなされたもので、その目的は、ミシン目で切り離した収容袋の開口部がわかり易く、しかも、その開口部が開口し易くなっており、さらに、収容袋が底部から引き裂かれ易くなっている収容袋巻装体を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0006】

上記の目的を達成するため、本発明の収容袋巻装体は、一の収容袋の開口部と他の収容袋の底部とがミシン目で切り離し可能に連結されて、複数の収容袋が連なって帯状に形成され、それがロール状に巻かれた収容袋巻装体であって、上記ミシン目が、隣接する収容袋の底部側に突出するように形成されているとともに、そのミシン目の突出部分の形状が、頂部が尖った山形に形成され、収容袋の開口部形状と底部形状とが異なっているという構成をとる。

20

【0007】

すなわち、ミシン目で切り離すと、頂部が尖った山形の突出部が形成されている辺と、その突出部に対応する形状の凹部が形成されている辺とを有し、開口部形状と底部形状とが異なる収容袋が得られる。そのうち、突出部が形成されている辺が開口部となり、凹部が形成されている辺が底部となる。このため、ミシン目で切り離された収容袋は、開口部が一目でわかるようになっている。また、突出部は、その突出のため、指先で挟み易く、しかも、開口部の密着は、その突出部を指先で挟んで擦ること等により、簡単に解け、開口のきっかけとなる。さらに、収容袋の底部に形成される凹部の谷底には、突出部の頂部に対応する角が形成され、底部は、その凹部の角から引き裂かれ易くなっている。

30

【発明の効果】

【0008】

本発明の収容袋巻装体は、隣接し合う収容袋の間のミシン目が一方の収容袋の底部側に突出し、開口部形状と底部形状とが異なるように形成されているため、上記ミシン目で切り離すと、突出部が形成されている辺が開口部であることが、一目でわかる。しかも、突出部は指先で挟み易く、そのまま指先で擦る等により、簡単に開口部の密着が解け、開口のきっかけとすることができる。すなわち、開口し易くなっている。

40

【0009】

さらに、上記ミシン目の突出部分の形状が、頂部が尖った山形であるため、それに対応する凹部の谷底に角が形成され、その角から、収容袋を簡単に引き裂くことができる。このため、開口部を縛った状態でも、その縛りを解くことなく、収容袋内に収容した物を取り出すことができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0010】

つぎに、本発明の実施の形態を図面にもとづいて詳しく説明する。

【0011】

50

図1は本発明の収容袋巻装体の一実施の形態を示している。この収容袋巻装体は、ミシン目2の形状に特徴があり、それ以外の部分は、従来のものと同様である。

【0012】

すなわち、本発明の収容袋巻装体におけるミシン目2は、その中央部が、隣接する収容袋1の底部1bの方に、三角形の山形に突出して形成されている。

【0013】

このため、図2に示すように、ミシン目2で切り離して1つの収容袋1を得ると、その収容袋1は、山形の突出部3が形成されている側が、開口部1aとなり、その山形に対応したV字形の切り欠き(凹部)4が形成されている側が、底部1bとなっている。したがって、一目で開口部1aがわかる。

10

【0014】

しかも、上記突出部3は、その突出のため、指先で挟み易く、しかも、その突出部3を指先で挟んで擦ること等により、開口部1aの密着は、簡単に解け、開口のきっかけとなる。そして、そこから空気が入り、簡単に開口できるようになっている。

【0015】

特に、ミシン目2の突出形状を上記のように頂部が尖った山形にすると、それに対応して、底部1bのV字形の切り欠き4の谷底に角が形成される。これにより、その収容袋1に商品等を収容した後、開口部1aを縛ったとしても、その商品等の収容物を収容袋1から取り出す際には、縛った部分を解くことなく、上記切り欠き4の谷底の角から、収容袋1を引き裂けばよい。すなわち、上記V字形の切り欠き4の谷底の角が、収容袋1の引き裂きを容易にしている。

20

【0016】

なお、ミシン目2の突出形状は、例えば、図3に示すように、ミシン目2全体が山形に形成されていてもよい。また、上記山形の突出部3を複数形成してもよい。参考までに、開口部1aと底部1bとを見分けるだけなら、図4に示すように、ミシン目2の中央部が四角形状の凸形状に形成されていてもよいし、図5に示すように、その凸形状が半円形状に形成されていてもよい。

【0017】

そして、上記引き裂きが容易となる観点からは、収容袋1を構成する樹脂フィルム等は、引き裂き易い材料(例えば、一軸延伸樹脂フィルム等)とすることが好ましい。

30

【0018】

また、収容袋1の材質は、特に限定されるものではなく、上記樹脂フィルム以外のもの(例えば、紙、布等)でもよい。

【図面の簡単な説明】

【0019】

【図1】本発明の収容袋巻装体の一実施の形態を示す説明図である。

【図2】上記収容袋巻装体の使用を示す説明図である。

【図3】ミシン目の変形例を示す説明図である。

【図4】ミシン目の参考例を示す説明図である。

【図5】ミシン目の参考例を示す説明図である。

40

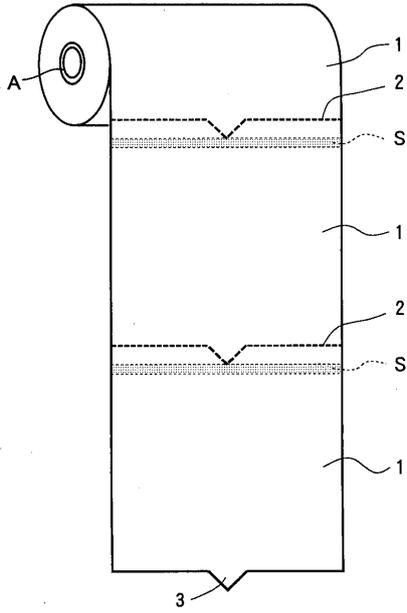
【図6】従来の収容袋巻装体を示す説明図である。

【符号の説明】

【0020】

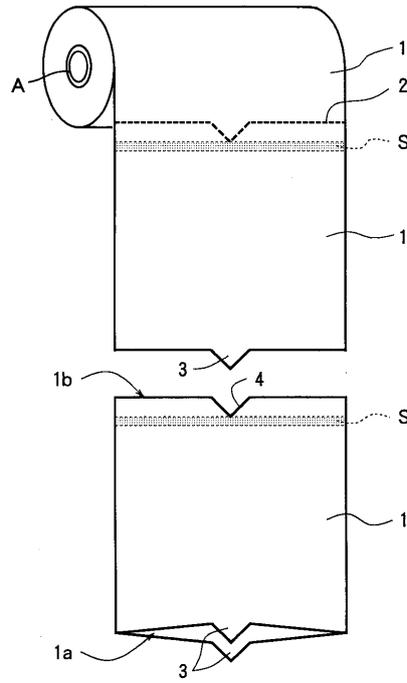
- 1 収容袋
- 2 ミシン目

【 図 1 】

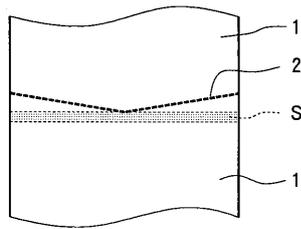


1 : 収容袋  
2 : ミシン目

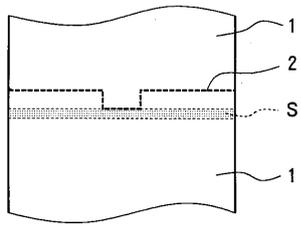
【 図 2 】



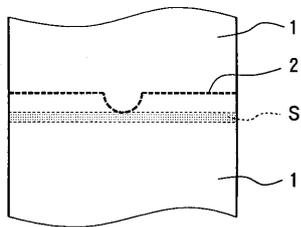
【 図 3 】



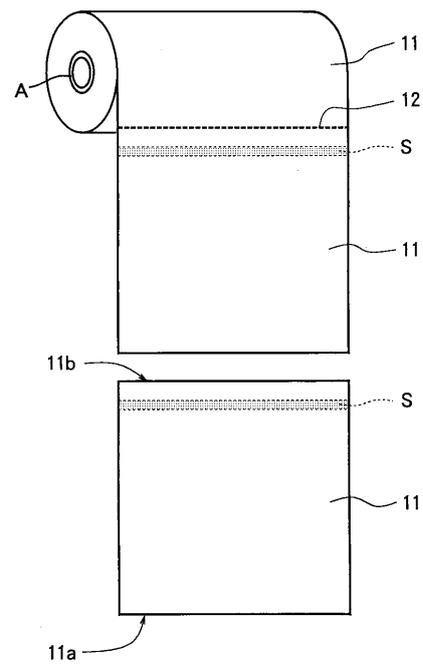
【 図 4 】



【 図 5 】



【 図 6 】



---

フロントページの続き

(56)参考文献 実開平03 - 064224 (JP, U)  
特開昭61 - 190444 (JP, A)  
実開平02 - 066435 (JP, U)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

B65D 30/00

B65D 33/00